

富山県消費生活センターの最近の消費生活相談の概要 (令和3年4月～10月分)

- ※ R2年10月末：令和2年4月～10月
 ※ R3年10月末：令和3年4月～10月
 ※ 架空請求音声ガイダンス及び市町村からの経由相談を除く

1 相談件数

年度	R2年10月末	R3年10月末	対前年度
件数	2,557	2,134	▲423 (▲16.5%)

2 契約当事者の年代別内訳

(単位:件)

区分	20歳未満	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	不明	計
R2年10月末 (構成比)	60 (2.3%)	187 (7.3%)	200 (7.8%)	330 (12.9%)	358 (14.0%)	414 (16.2%)	616 (24.1%)	392 (15.4%)	2,557 (100%)
R3年10月末 (構成比)	51 (2.4%)	149 (7.0%)	176 (8.2%)	253 (11.9%)	322 (15.1%)	317 (14.9%)	524 (24.6%)	342 (15.9%)	2,134 (100%)

- 60歳代の割合が16.2%から14.9%と1.3ポイント減少しているが、60歳代以上では全体の約4割を占め、依然として高齢者が消費者トラブルに遭いやすい状況にある。

3 購入形態別内訳

(単位:件)

区分	店舗外販売							店舗購入	不明・無関係	計
	訪問販売	通信販売	マルチ取引	電話勧誘販売	訪問購入	ネガティブ・オプション	その他無店舗			
R2年10月末 (構成比)	148 (5.8%)	901 (35.2%)	49 (1.9%)	130 (5.1%)	31 (1.2%)	14 (0.5%)	8 (0.3%)	480 (18.8%)	796 (31.2%)	2,557 (100%)
R3年10月末 (構成比)	148 (6.9%)	706 (33.1%)	32 (1.5%)	98 (4.6%)	17 (0.8%)	5 (0.2%)	6 (0.3%)	448 (21.0%)	674 (31.6%)	2,134 (100%)

- 「訪問販売」… トイレ詰まり等の修理サービス、屋根・壁工事や新聞購読の強引な勧誘の解約に関する相談など。
- 「通信販売」… SMSを使った身に覚えのない料金の架空請求、アダルト情報サイトにアクセスしての不当請求、健康食品や化粧品等の定期購入の解約の相談など。
- 「電話勧誘販売」… インターネット接続回線や光回線サービス、地元電力会社を名乗る契約変更の勧誘に関する相談など。
- 「ネガティブ・オプション」… 注文していない商品の一方的な送りつけに関する相談など。
- 「不明・無関係」… 宅配業者を騙ったSMSによる不在通知、購入形態が不明なもの、消費者問題以外の相談など。

4 令和3年4月～10月の相談の傾向と特徴

- 前年度の同期間と比較した全体の相談件数は、架空請求に関する相談（2年度：122件→3年度：27件）や、新型コロナウイルスに関連した相談（2年度：263件→3年度：79件）が減少したことなどから、423件（▲16.5%）減少した。
- 元年度に急増し、2年度も引き続き増加した通信販売の「定期購入」に関する相談については、今年度は若干減少（2年度：189件→3年度：174件）しているものの、引き続き多くの相談が寄せられている。その内容としては、「健康食品」の解約等の相談が減少（2年度：120件→3年度：55件）しているが、美容液等「化粧品」の解約等の相談が増加（2年度：50件→3年度：97件）するといった特徴が見られる。